

参考資料

(第2次教育振興基本計画期間の成果と課題)

基本目標
市民が主体となったまちづくりの実現

基本方針
2 多様性を認め合う共生社会

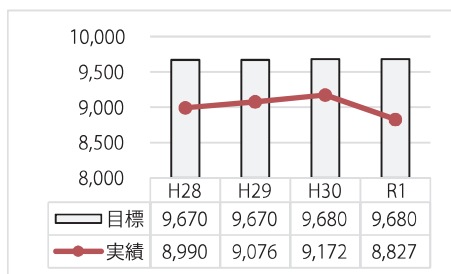
施策 9211 「人権尊重のまちづくり」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

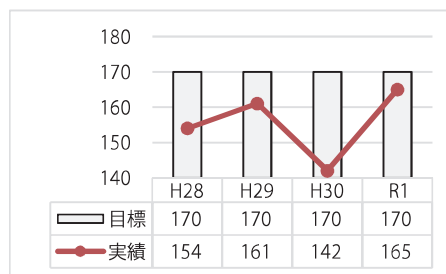
- ・「人権尊重のまちづくり」を推進するため、「伊丹市人権教育・啓発推進に関する基本方針」等に基づき、人権教育を生涯学習に位置づけ、学習機会の充実を図る。また、性的マイノリティに対する差別等、さまざまな人権課題に対して、「人権教育指導員」の派遣、「人権啓発推進委員」による小学校区別研修の実施等により啓発活動に取り組む。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・「伊丹市人権教育・啓発推進に関する基本方針」に基づき、様々な人権問題解消に向けて取り組んだ。特に市民団体と協働し、人権教育を生涯学習に位置づけ、市民・教職員の意識向上を図った。
- ・「多様性を認め合う共生社会」の実現に向け、性的マイノリティ教材等作成事業を実施し、性の多様性に係る人権課題への対応に新たに取り組んだ。



人権教育・啓発事業への参加数（人）



各種研修会の開催数（回）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・「伊丹市人権教育・啓発推進に関する基本方針」に基づき、地域・学校・職場などへ人権教育指導員を派遣するなどし、市民及び教職員の人権意識の向上を図る。
- ・引き続き「多様性を認め合う共生社会」の実現に向け、市民・教職員を対象に、性の多様性や外国人市民との共生などについての学習機会を提供する必要がある。

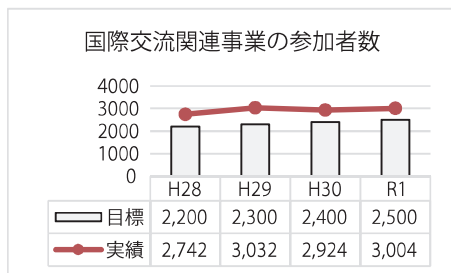
施策 9214 「多文化共生のまちづくりと国際交流」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

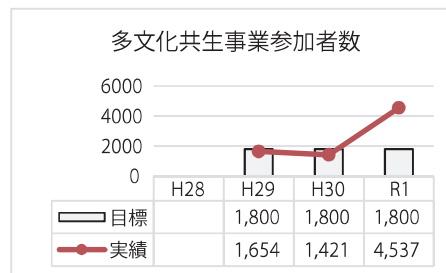
- ・多文化共生のまちづくりのため、教育活動全体を通して、多文化共生、国際理解教育を推進する。また、外国人児童生徒等に対する指導体制の充実に取り組む。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・外国人児童生徒等の受入学校園に適応指導員を派遣し、児童生徒等の学校園生活への適応や学習指導の支援を行い、学校園生活への早期適応につながった。
- ・中国広東省佛山市との学生交流等を行い、友好と相互理解を深めた。



国際交流関連事業の参加者数（人）



多文化共生事業参加者数（人）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・今後も外国人市民の国籍と人口が増加することが予測される中、来日後間もない、外国人児童生徒等が学校園生活に適応するための支援の継続が必要。

政策目標

① 支え合いの心でつくる安全・安心のまち

施策目標

1. 安全・安心のまちづくり

主要施策（3）交通安全と地域防災の推進

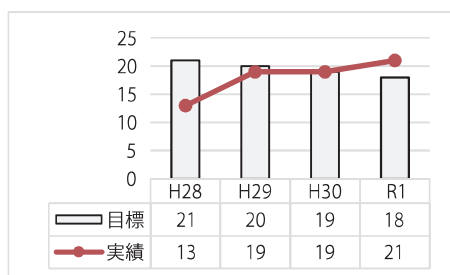
施策 1131 「交通安全対策の推進」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

- ・子どもや保護者・地域が安心できる教育環境を創出するため「通学路への安全・安心見守りカメラの設置」、多発する自転車事故等に対応するため「自転車交通安全教室」等に取り組む。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・学校や地域、警察等と連携した通学路等の危険箇所の点検をはじめ、交通規制の啓発看板の設置等、地域からの提案・要望について、交通安全対策の充実を図った。



年間の自転車関連事故件数（件）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・交通ルールやマナーを身につけさせ、交通安全意識の高揚を図るために、小・中学校で自転車交通安全教室を今後も継続的に取り組む必要がある。



政策目標

② 未来を担う人が育つまち

施策目標

1. 子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり

主要施策（1）子どもの育ち・若者の自立を支援する環境づくり

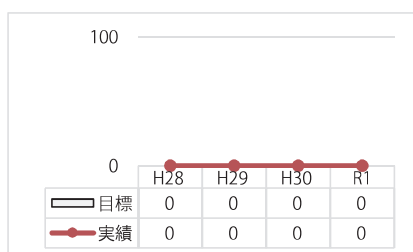
施策 2112 「保育・幼児教育の充実」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

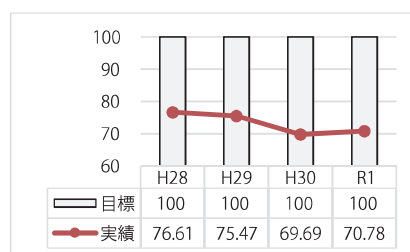
- ・多様な保育ニーズに対応するため、保育所での保育、延長保育、一時保育等、保育サービスの充実を図る。
- ・社会の変化に対応した柔軟かつ特色をもった幼稚園運営を行う。また、地域の幼児教育センターとしての役割を担い子育て支援に取り組む。私立幼稚園に対しては、各園の自主性を尊重しつつ、適切な支援に取り組む。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・民間認可保育所の誘致等により、H31年4月には3年連続となる年度当初の待機児童ゼロを達成できた。
- ・伊丹市幼児教育推進計画に基づき、幼稚園教諭と保育士等で構成するワーキング会議にて伊丹市幼児教育ビジョンの実践をめざして協議し、認定こども園を3園整備した。



保育所等待機児童数（人）※翌年度当初



認定こども園・公私立幼稚園（1号認定）定員充足率（%）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・幼児教育・保育の無償化などにより、保育所等へのニーズが高まる中、年度当初の待機児童ゼロを期中まで維持するために、更なる定員の拡大が必要である。
- ・幼児教育のさらなる質の向上を図るため、公私立幼稚園・保育所（園）・認定こども園などが連携しながら、伊丹市幼児教育ビジョンを基に、研修等を重ね、教員の資質の向上をめざす。

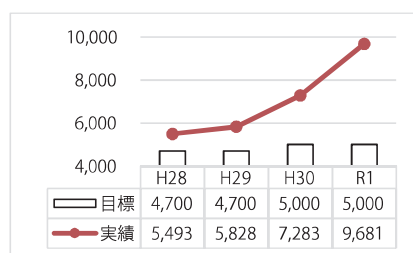
施策 2113 「発達に支援を要する子どもの支援」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

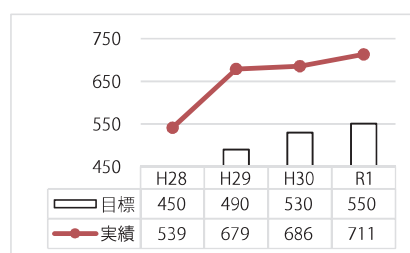
- ・発達に支援が必要な子どもと保護者を対象に相談・早期療育を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように支援する。
- ・保健・医療・福祉・教育が連携し、子どものライフステージに応じ総合的で一貫した支援を行う。
- ・子どもの発達や障がいに関する啓発活動や情報発信を通じて、市民理解の促進を図る。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・発達に支援を要する18歳までの子どもとその保護者に対する相談及び福祉サービスを総合的に提供するための、こども発達支援センターの施設整備を完了させることができた。
- ・こども発達支援センターが子どもの発達に関する相談窓口として市民及び関係機関等に周知、連携を図りながら相談支援に取り組めた。



「こども発達支援センター」の相談件数（件）



地域型訪問サービスの利用者数（人）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・病院や民間事業所等各機関との連携を図り、センターを中心とした地域支援機能のさらなる充実が必要。

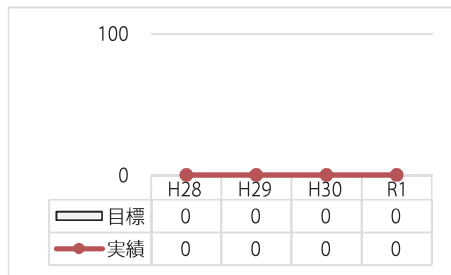
施策 2114 「子どもの育ちの支援」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

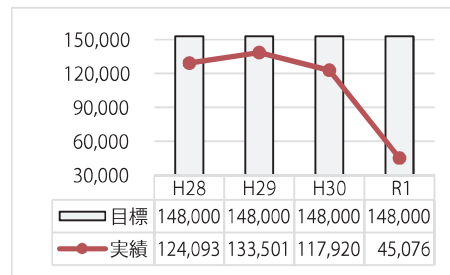
- ・子どもが遊びや学び、交流体験を通して、主体性や創造性を育む活動を充実する。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・こども文化科学館に併設していた児童館を神津交流センターに移転整備した。
- ・女性・児童センターにおいて、児童会館部分と男女共同参画機能を分化し、子どもの居場所として新しい児童館の再整備を進めた。
- ・放課後児童くらぶでは、働く保護者のニーズに応え、延長保育時間の拡大、専用室の整備、全学年の受入等を果たした。



児童くらぶ待機児童数（人）



児童館 3 館利用者数（人）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・新児童館については、子どもや利用者の声を反映した施設として再整備するとともに、南部認定こども園との連携を図る。
- ・放課後児童くらぶでは、今後も入所児童数の推移によっては新たな施設整備が必要である。

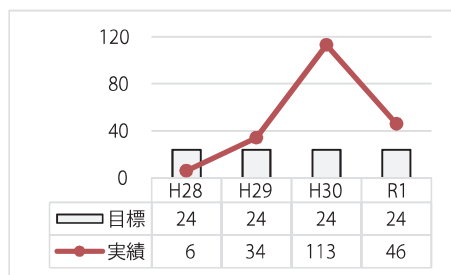
施策 2115 「若者の自立支援」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

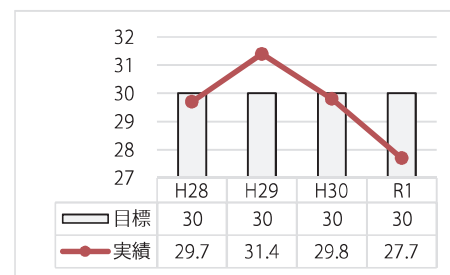
- ・困難を有する若者等を含めた青少年や保護者に対して相談体制を整備するとともに、教育、福祉、更生保護などに関する支援を関係機関と連携して行うことで、若者の自立した社会生活に向けて支援していく。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・社会福祉協議会、宝塚若者サポートステーション等との連携のもと、当事者や保護者の会の設置、講演会や個別相談会の開催等、困難を有する若者の支援を行った。
- ・県の出会いサポートセンターと連携し、出会いや交流の場の創出を支援した。



若者自立支援相談者延べ人数（人）



ひきこもり対策等の充実施策に満足している人の割合（%）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・子どもの貧困問題やひきこもりなどの今日的課題に対して、福祉、更生保護など関係機関との連携をさらに図り支援を行う必要がある。

政策目標

② 未来を担う人が育つまち

施策目標

1. 子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり

主要施策（2）家庭の子育て力を高める環境づくり

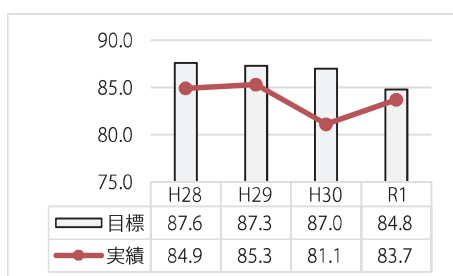
施策 2121 「家庭教育の推進」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

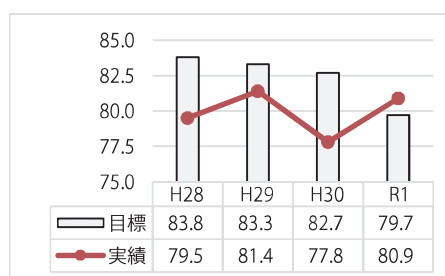
- ・ 家庭の教育力を向上させるため、保護者に対して、学習機会の提供や各種パンフレット等による啓発を行い、家庭教育の充実を図る。
- ・ 家庭教育を「人づくり・まちづくり」の基礎として位置づけ、市民ぐるみの支援を図る。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・ 家庭教育学級等の開催など学習機会の提供や、だんらんホリデー事業・すこやかネット事業等を通じた市民啓発による家庭教育を推進し、家庭・地域の教育力向上につなげた。



小学生の朝ごはん摂取率 (%)



中学生の朝ごはん摂取率 (%)

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・ 学習機会の提供や市民啓発を通して家庭教育の推進を図るだけでなく、学校園・家庭・地域が連携し、社会総がかりで子どもを育てる環境づくりを推進していく必要がある。

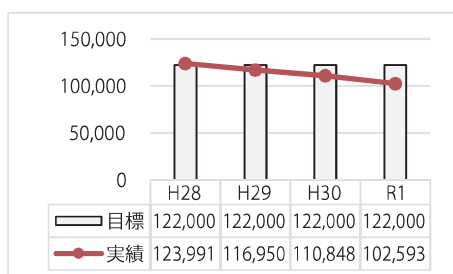
施策 2122 「子育て支援の充実」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

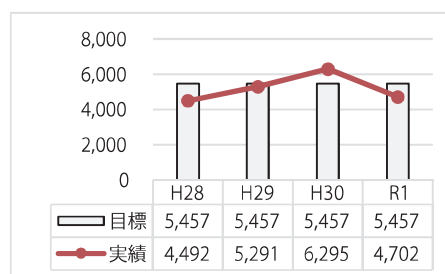
- ・ 子育て中の親子に対し、親子交流や、子育てに関する相談、子育て情報の提供その他子育て・子育てを支援するための各種事業を展開することにより、家庭における育児負担や不安感の軽減を図りつつ、子育て力の向上を図る。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・ 子育て世代包括支援センターとしての機能を広く子育て中の親子に周知でき、それにより子育てコンシェルジュへの相談数が増加し、育児不安や負担感の軽減を図ることができた。
- ・ 子育て家庭の利用者のニーズに応じた各種講座を開催し、「いたみすくすくぶっく」「いたみすくすくマップ」を発行することで、子育て家庭に子育て情報を提供することができた。



地域子育て支援事業参加者数 (人)



保育所の園庭開放参加者及び育児相談者数 (人)

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・ 幼稚園による3歳児保育や保育所入所者の増加に伴い、地域子育て支援拠点事業の利用者が減少傾向にあり、状況に応じた事業内容の工夫が必要である。
- ・ 幼児教育推進計画の実行にあたり、地域子育て支援拠点の需要と供給量の均衡を勘案し、再編も視野に入れた検討が必要である。

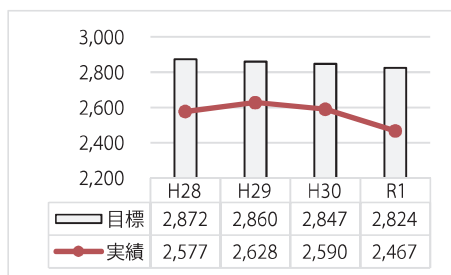
施策 2125 「子育て家庭への経済的負担の軽減」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

- ・次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援する。
- ・安心して子育てができる環境の整備を図る。
- ・子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・各事業を適正に実施することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。



就学援助の認定者数（人）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・国・県等の制度の変更に的確に対応し、子育て支援に継続的に取り組む必要がある。

政策目標

② 未来を担う人が育つまち

施策目標

1. 子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり

主要施策 (3) 子育て・子育てを地域で支える環境づくり

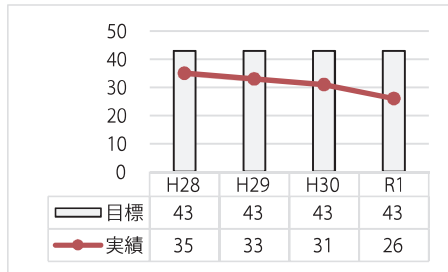
施策 2131 「地域ぐるみの子育て支援」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

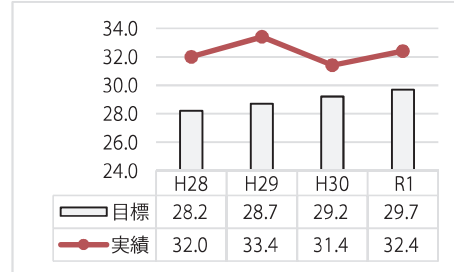
- ・子育て中の親子が地域の一員として地域の見守りや支えあいのなかで成長していけるよう、地域における子育て支援の担い手の育成やネットワークの構築を支援し、地域住民が主体となった子育て支援活動が進められる環境を整備する。

○計画期間中 (H28～R2) の成果

- ・既存の子育て支援団体や子育てサークルに対しては、活動の支援を行い、地域住民が主体となった子育て支援活動を進めることができた。
- ・学校や地域の青少年育成組織と連携し、地域ぐるみの子育て支援を進めた。



子育てサークル及び
地域子育てバックアップ事業補助団体数 (団体)



地域の子育て環境の整備施設に
満足している人の割合 (%)

○第3次教育振興基本計画 (R3～) への課題

- ・子育て支援に関係する団体の担い手が高齢化し、継続が困難になりつつあるため、新たな担い手の発掘が課題である。
- ・少子化や子どもの放課後の過ごし方の多様化により、青少年健全育成団体の団員数は年々減少傾向にあるため、多様な青少年健全育成の支援が必要である。

政策目標

② 未来を担う人が育つまち

施策目標

2. 子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育

主要施策（1）確かな学力の向上

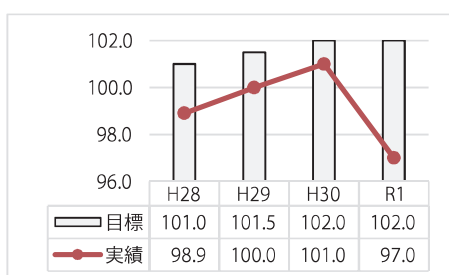
施策 2211 「自ら学び自ら考える力を育む教育の推進」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

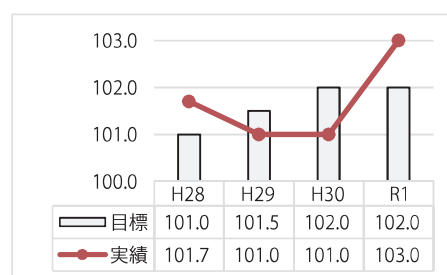
- 一人ひとりの子どもが、基礎的な知識や技能に加え、自ら考え、判断し行動する力、すなわち確かな学力を身に付ける。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- 学力調査等を活用し、PDCA サイクルを確立しながら授業改善を進めることができた。
- 少人数指導や TT 指導等、学習のつまずきを解消するための方策を実施し、学力の底上げを図ることができた。
- 出前講座等、家庭学習の啓発により、自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合が上昇するなど、自主的に学習する態度の育成を図ることができた。



小学校の指数（全国学力調査の全国平均を100として）



中学校の指数（全国学力調査の全国平均を100として）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- 新学習指導要領で求められている、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の育成をめざして、学力調査等の分析を行い、さらなる授業改善に活かす必要がある。
- 家庭への啓発を継続して行い、予習・復習をしたり、計画を立てて勉強したりするなど児童生徒が主体的に取り組む家庭学習を推進し、学習習慣の定着を図る必要がある。

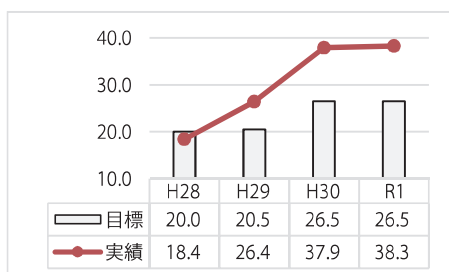
施策 2212 「新たな社会への対応力を育む教育の推進」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

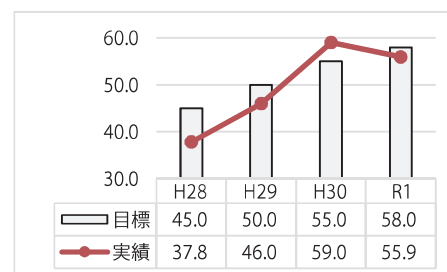
- 英語教育及び情報教育の充実に取り組むとともに、教員のICT活用指導力向上を支援することにより、児童生徒の国際化社会・情報化社会に主体的に対応できる能力を育成する。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- 外国人英語指導助手の増員により、小学校から児童が生きた英語に触れる機会が増え、児童生徒の英語力の向上につながった。
- ICTを活用した授業時数について、計画値を大幅に上回るなど、授業での活用を促進することができた。



ICTを活用した1クラス当たりの月平均授業時間数（時間）



英検3級程度学力保持者数（中学3年生）（%）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- 新学習指導要領に対応した英語教育を推進するための体制整備と、小・中学校間での指導内容や指導方法の円滑な接続について引き続き研究を行う必要がある。
- 児童生徒の情報活用能力育成のため、効果的なICT活用指導力の向上を支援していく必要がある。

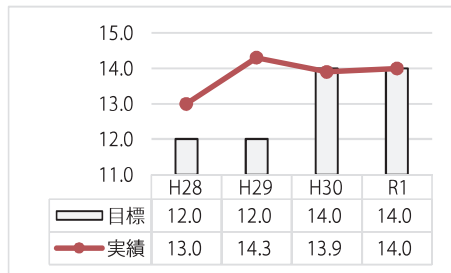
施策 2213 「伊丹ならではの特色ある教育の推進」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

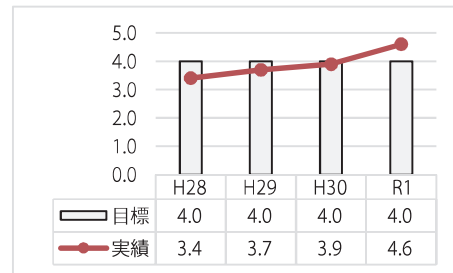
- ・伊丹の教育を広く市民に周知し、社会総がかりの教育を推進する。
- ・「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書環境を整え読書教育を推進する。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・学校・家庭・地域が連携した社会総がかりの教育や教育施策を推進することをめざし、伊丹の多様な教育活動や教育施策についてリーフレット等を用いて市民に周知できた。
- ・学校司書の配置により学校図書館の整備を図り、児童生徒の読書冊数が増加するなど、読書に関する興味・関心を高めることができた。



小学校の児童一人あたり（1か月の読書冊数）（冊）



中学校の生徒一人あたり（1か月の読書冊数）（冊）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・今後も更に多様なメディアを活用しながら、市民にわかりやすくタイムリーに周知し、伊丹の教育施策の認知度を高める必要がある。
- ・学校司書と担任等教職員との連携により、教科指導に係る授業準備の充実を図る必要がある。

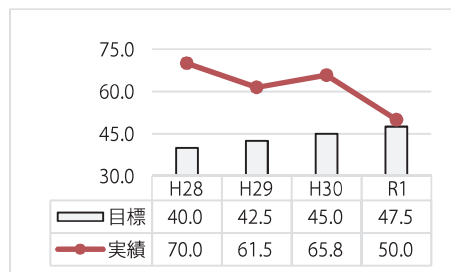
施策 2214 「魅力ある市立高等学校づくり」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

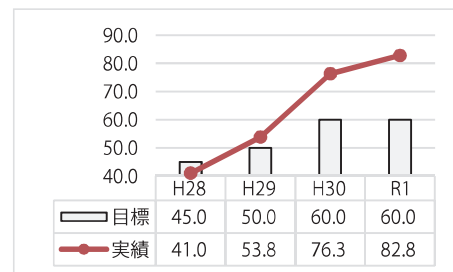
- ・知・徳・体の調和を図り、平和的な国家及び社会の形成者としての資質の向上に努める。
- ・国際化・情報化等の社会の変化に対応できる、個性豊かな人材を育成する。
- ・市立伊丹高校を、進学したい、進学させたい学校にする。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・地域公開講座「土曜公開講座」、イングリッシュキャンプ等を実施したほか、3年間で卒論を書く「探究活動」を実施し、グローバル人材の育成を図ることができた。
- ・学区拡大に伴い、生徒が幅広い進路を希望することに伴い、「補習授業」等を実施し、生徒の進路希望の実現を図ることができた。



全商 1 級資格取得率（%）



英検準 2 級程度学力保持者数（%）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・大学入試改革、新学習指導要領に沿った授業改善及びカリキュラムマネジメントの実現を図る必要がある。
- ・グローバル社会に対応できる資質を備え、語学力・コミュニケーション能力等の表現力に長じた人材の育成をめざすとともに、探究活動では、大学入試改革に対応した思考力を育成できるよう、内容を工夫する。

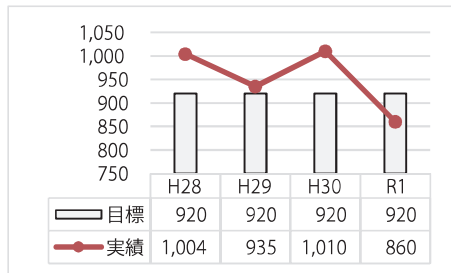
施策 2215 「特別支援教育の推進」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

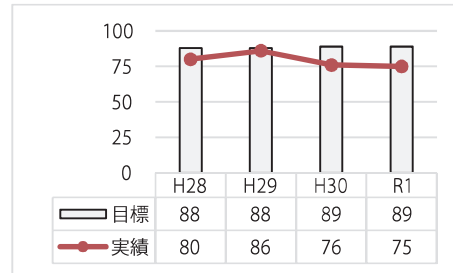
- ・(改訂版)「今後の特別支援教育のあり方について(基本方針)」に基づいた施策の実施を通して、障がいのある幼児児童生徒に対して適切な指導、支援を行う。さらに、幼児児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服する。

○計画期間中(H28～R2)の成果

- ・早期からの一貫した支援の推進に向けた取り組みを行うことができた。
- ・総合的な支援体制と関係機関との連携を通して、自立を促す支援を行うことができた。
- ・インクルーシブ教育システム構築に向け、伊丹特別支援学校を本市における特別支援教育のセンター的機能を有する学校として体制を構築することができた。



特別支援教育に関する研修の参加者数(人)



個別の支援計画「ステップ★ぐんぐん」を作成している人の割合(%)

○第3次教育振興基本計画(R3～)への課題

- ・特別な支援を要する児童生徒が増加傾向であることを踏まえ、今後も組織的対応と保護者への啓発が必要である。
- ・教職員の専門性をさらに高めていく必要がある。また、伊丹特別支援学校は、センター的機能を有する学校として、市内各校園への支援の充実を一層図っていく必要がある。



市立伊丹高等学校特色化・活性化推進チーム会議

政策目標

②未来を担う人が育つまち

施策目標

2. 子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育

主要施策（2）豊かな心と健やかな体の育成

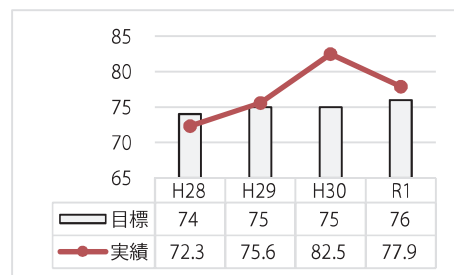
施策 2221 「豊かな心を育む道徳教育、情操教育の推進」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

- ・心に響く授業や様々な体験活動、芸術文化活動などの教育活動を行う。
- ・児童生徒の、社会性、善悪の判断力、規範意識などの力を培う。
- ・全ての教育活動で「心の教育」を推進し、命の大切さ、相手を思いやる心、自尊感情を育む。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・学級活動や特別活動、行事等において、人と協力する活動を行い、規範意識の醸成や基本的生活習慣の確立、自然環境や命を大切にすることを育てることができた。
- ・学校教育活動において、キャリア教育を推進することで、将来に希望を持ち、主体的に生き方を考える生徒の育成を推進することができた。



自分にはよいところがあると肯定的に回答した児童の割合 (%)

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・改訂された学習指導要領に基づいて、道徳科をはじめ全ての授業や行事等の内容を充実させることにより、規範意識や公共心等について、より主体的に考える児童生徒の育成を図る必要がある。
- ・多角的な知識の習得と体験活動から将来の生き方について考えを深め、より主体的に自己実現を図ろうとする児童生徒を育成する必要がある。

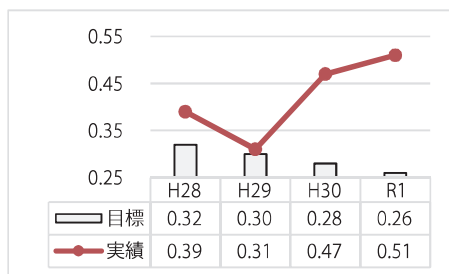
施策 2222 「子どもの問題行動への対応」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

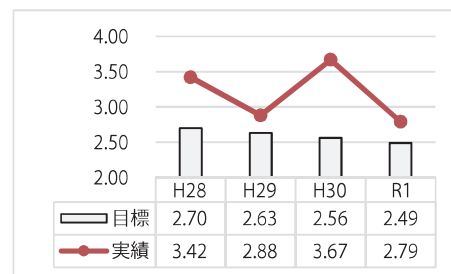
- ・学校、家庭、地域、関係機関が連携し、専門性を有する人員などを活用し、いじめや暴力行為・不登校など生徒指導上のあらゆる問題に対して未然防止に努めるとともに、一貫性のある取り組みを推進し、早期発見・早期解決を図る。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・いじめ防止等対策審議会の設置、基本方針の策定などにより、いじめ問題の未然防止や初期対応について、組織の体制を構築することができた。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをはじめとする専門家を活用し、「チーム学校」として組織力を向上させることができた。



小学生不登校児童出現率 (%)



中学生不登校生徒出現率 (%)

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・複雑化、多様化する様々な課題に対し、さらなる組織的な体制の充実を図る必要がある。
- ・不登校、いじめ等子どもたちの様々な課題に対して、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの相談件数が増加しており、人材を有効に活用することを一層推進する必要がある。
- ・学校と家庭・地域、関係機関がさらに情報共有を図り、様々な教育課題に取り組む必要がある。

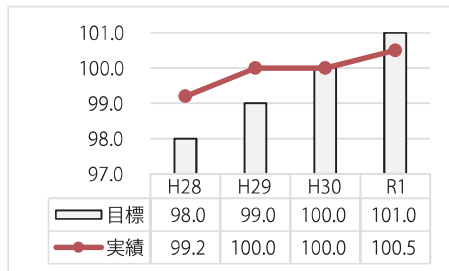
施策 2223 「子どもの健やかな体づくりと部活動の推進」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

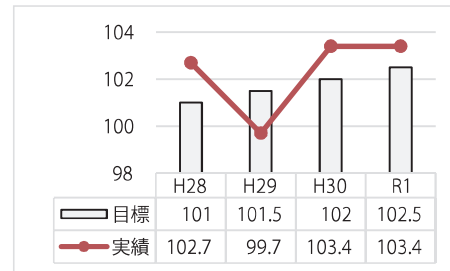
- ・積極的に運動に親しむ資質や能力と個に応じた体力・運動能力を向上させる。
- ・いきいきとした部活動の推進と持続可能な部活動体制を構築する。
- ・心と体の健康を育み、望ましい生活習慣を確立する。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・体力向上推進委員会を設置し、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析を行うとともに、伊丹市体力・健康づくり推進プランを策定した。
- ・中学校部活動の支援により、その振興を図ることができた。
- ・「伊丹市中学校部活動に関する方針」を策定した。



小学校の指数（全国体力調査の全国平均を100として）



中学校の指数（全国体力調査の全国平均を100として）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・全国体力調査の結果、小学校では主に筋力・持久力、中学校では主に投力に課題が見られるため、それらを向上させ、小・中学校ともに体力合計点を全国平均以上にする。
- ・児童生徒の体力が二極化の傾向にあることから、運動に親しみ、望ましい生活習慣の形成及び朝食摂取率の向上を図る。
- ・中学校部活動への支援により、さらに振興を図り、持続可能な部活動体制の構築を図る。

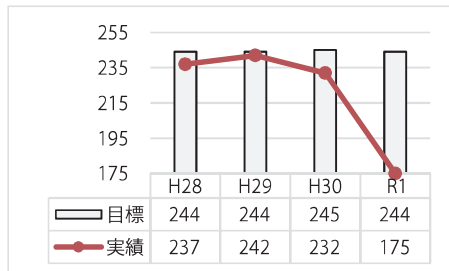
施策 2224 「健全な食生活の推進」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

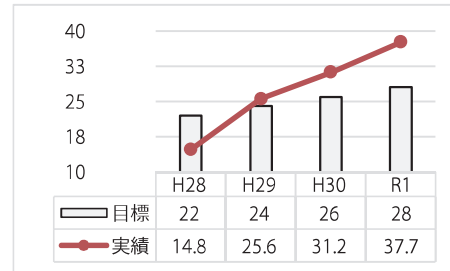
- ・子どもたちが健全で豊かな食生活を送れる自治体をめざす。
- ・食の自己管理能力を醸成する。
- ・幼児期からの食育普及啓発の取り組みを推進する。
- ・健全な食生活の普及啓発への取り組みを推進する。
- ・食を通じた健康づくりの実現をめざす。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・市内産及び兵庫県産食材を積極的に活用することで、地産地消を推進することができた。
- ・栄養教諭等による学校訪問での給食指導を実施したことで食育の推進が図れた。
- ・献立コンクールや食育講演会等を実施したことで、児童生徒の食に対する関心や創造力を引き出すことができた。



小学校低学年対象の食育に関する指導回数（回）



学校給食における兵庫県産利用割合（％）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・食育の推進と給食指導の充実を図り、さらに安全・安心な給食の提供と残食軽減の取組を進める。
- ・給食食材の地産地消を推進する。

政策目標

②未来を担う人が育つまち

施策目標

2. 子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育

主要施策 (3) 信頼される開かれた学校づくり

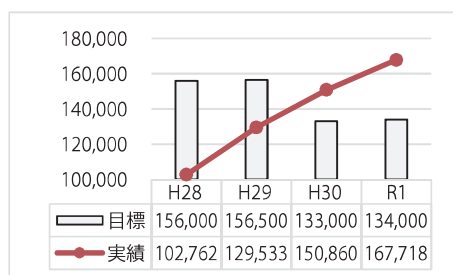
施策 2231 「学校園情報の積極的な発信と学校園運営への市民参画」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

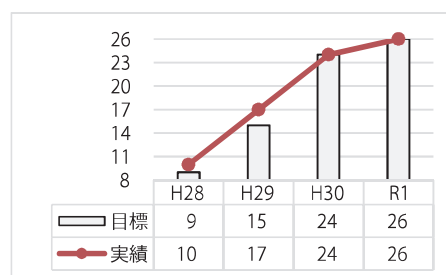
- ・教育情報の積極的な発信により、信頼される開かれた学校園をめざす。
- ・学校支援地域本部事業を推進し、ボランティアによる学校支援を充実することで、地域ぐるみで学校園の活性化を図る。
- ・「学校運営協議会」の設置により、市民参画による学校運営を実現する。

○計画期間中 (H28～R2) の成果

- ・学校園情報を積極的に発信することで、信頼される学校園づくりを進めることができた。
- ・学校の実情に応じた地域人材を活用し、地域に根ざした学校園づくりを行うことができた。
- ・市内全小・中・高等学校に学校運営協議会を設置し、保護者や地域住民が学校運営に参加できる仕組みを整えることができた。



教育関連情報提供 HP のアクセス数 (件)



コミュニティ・スクール指定校 (校)

○第3次教育振興基本計画 (R3～) への課題

- ・教育情報の更なる周知に取り組む必要がある。
- ・社会総がかりで子どもを育む地域学校協働活動を推進していく必要がある。
- ・市民に対して学校運営協議会のねらいや内容等について周知するとともに、「地域とともにある学校づくり」を一層進めていく必要がある。

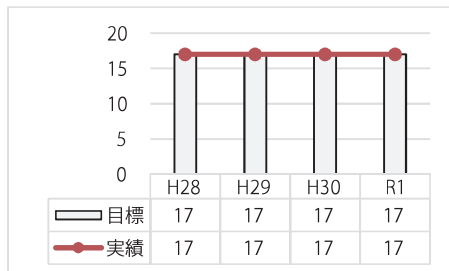
施策 2232 「安全・安心な学校園づくり」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

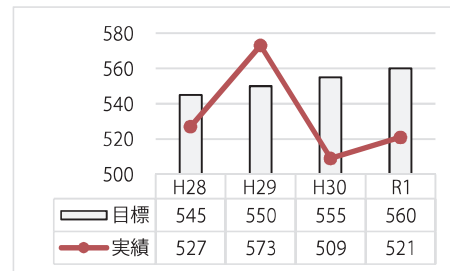
- ・園児・児童・生徒の危機対応能力を育成する。
- ・心肺蘇生講習会を通して危機管理能力を向上させ、生命の大切さを実感させる学びを推進する。
- ・園児・児童・生徒が安全安心に学校園生活を送ることができる施設環境を整備する。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・防災訓練、CAP 講習会や心肺蘇生講習会を実施するなどの取組を通して、児童生徒及び教職員の危機対応能力の向上を図ることができた。
- ・老朽化が進む校舎等の大規模改造工事等を計画的に実施し、安全安心な施設環境の維持向上を図ることができた。



警察と連携した防犯訓練の実施小学校数（校）



心配蘇生法講習会受講者数（人）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・防災訓練などの安全・安心な学校園づくりのための取り組みや連携体制を効果的なものとするため、実施時期や実施内容、方法等について、毎年見直す必要がある。
- ・更なる安全・安心な施設環境を整備する必要がある。

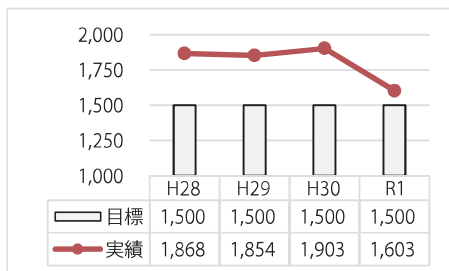
施策 2233 「教職員の意識改革と資質の向上」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

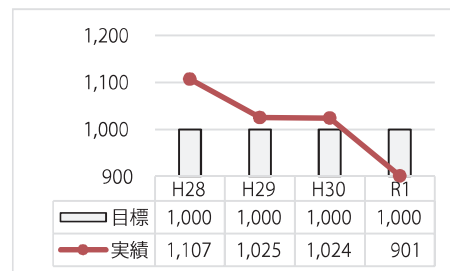
- ・教職員の専門的知識の習得や実践的指導力、社会の変化に対応した指導力の向上を図る。
- ・教職員が学ぶべきことを学べる環境を整備、自主研修を促進し、教員の指導力・資質の向上を図る。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・教員のニーズに応じた研修を計画的に実施し、資質向上を図ることができた。



授業力向上(カリキュラム)支援センター自主研修利用者数（人）



若手教員対象研修会への参加人数（人）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・研修内容の充実を図り、教職員の更なる指導力、資質向上に努める必要がある。

政策目標

② 未来を担う人が育つまち

施策目標

3. ライフステージごとに学び活躍する人づくり

主要施策（1）生涯にわたる主体的な学習の支援

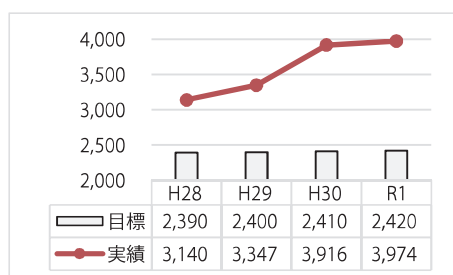
施策 2311 「市民の主体的な学習や活動の支援」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

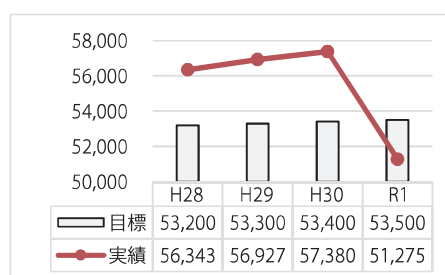
- ・生涯学習環境の整備と学習成果を地域づくりに活かす仕組みづくりを推進する。
- ・市民の主体的な学習や活動を支援する。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・学びによる地域活性化支援事業「まちなか公民館」を開始するなど現状の課題に対応した学習機会の提供と学習成果の活用を図った。
- ・ボランティア等との連携による事業を実施し、市民の参画と協働を推進した。
- ・公民館をスワンホール内に機能移転し、市民の主体的な学習を推進する環境を整備した。



生涯学習ボランティア登録数（人）



講座参加者数（公民館・ラスト・きらら）（人）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・市民の主体的な学びを一層推進するとともに、学びの成果を地域に還元することで地域の活性化を図る必要がある。

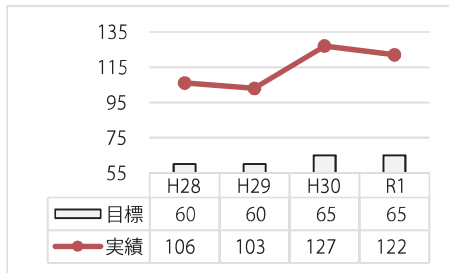
施策 2312 「社会教育施設等の効果的活用」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

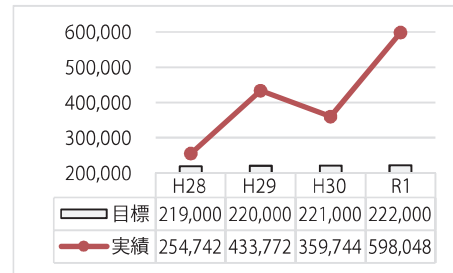
- ・社会教育施設、大学、企業等との連携による新たな事業展開を図る。
- ・効果的な情報提供により社会教育施設での生涯学習活動を支援する。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・社会教育施設間の連携による相乗効果により、魅力ある事業を企画・実施し、市民の学習や活動を支援した。
- ・各社会教育施設の特徴を活かした事業企画を行い、企業との連携にも着手するなど、市民の多様な学習ニーズに対応した。



他施設・他館・企業との連携事業（事業数）



ホームページのアクセス数（件）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・多様な市民ニーズに応える学びの場を提供するとともに、社会教育施設間だけでなく、大学・企業等との連携をさらに進めることにより、持続的で効果的な事業展開を図っていく必要がある。
- ・学びのきっかけづくりを推進するため、市民が必要とする学習・情報を届けるなど、効果的な情報発信を行う必要がある。

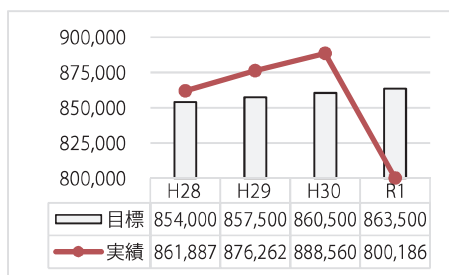
施策 2313 「伊丹の特色を活かした学びの創出」

○第 2 次教育振興基本計画でのめざすべき姿

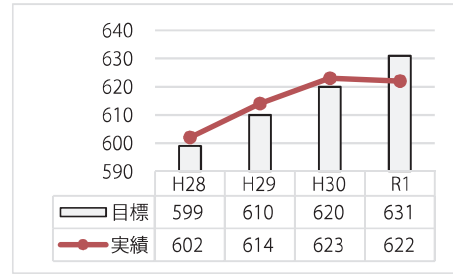
- ・「伊丹・本の杜」構想の実現に向け、「ことば」に気軽にふれあい、大切にできる環境を整備する。
- ・伊丹の歴史・文化等の地域資源を活用し、郷土に対する愛着心を高める。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・図書館本館「ことば蔵」の整備移転による図書館機能の強化や移転等に伴い、図書館利用者や貸出冊数が増加傾向にある。
- ・平成 28(2016) 年度に「Library of the year 2016」大賞受賞、平成 31(2019) 年度には「図書館を使った調べる学習コンクール」において、総務大臣賞を受賞するなど本館の取り組みが高い評価を受けた。



図書館の利用者数（人）



図書館総蔵書数（千冊）

○第 3 次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・図書館利用の拡充をめざして、レファレンスサービスや魅力的な蔵書構成等の図書館本来の機能向上を図るとともに、「図書館を使った調べる学習コンクール」などの事業を通じて、地域の情報拠点としての利用促進を図る。また、交流フロア運営会議の活動、企業や学校など様々な機関との連携を引き続き行い、伊丹の特色ある地域資源を活かした企画を実施する必要がある。

政策目標

② 未来を担う人が育つまち

施策目標

3. ライフステージごとに学び活躍する人づくり

主要施策（2）生涯スポーツの推進

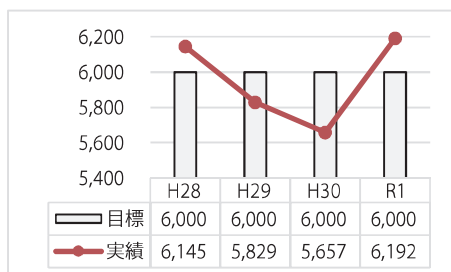
施策 2321 「生涯スポーツの環境づくり」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

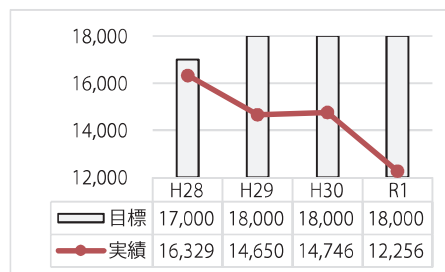
・「新伊丹市生涯スポーツ振興基本計画」に基づき、生涯スポーツ社会の確立に向けて、心身ともに調和のとれた人づくりに努める。

○計画期間中（H28～R2）の成果

・スポーツクラブ21 交流大会や各種スポーツ大会・イベント等の実施により、世代を超えた地域住民同士の交流や市民の健康増進、体力向上に寄与できた。
 ・日ごろスポーツに接することの少ない市民が継続してスポーツに取り組めるよう「サタデージョギング」教室を開催した。



スポーツクラブ21 会員数（人）



市民スポーツ祭等参加者数（人）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

・各種スポーツ大会やスポーツイベント等への参加者の増加を図るため、SNS やホームページ等を活用し、情報発信をより積極的に行う必要がある。
 ・生涯にわたって誰もがスポーツを楽しみながら、健康に暮らせるよう、スポーツ団体の活性化や交流の促進、指導者の育成等に取り組む必要がある。

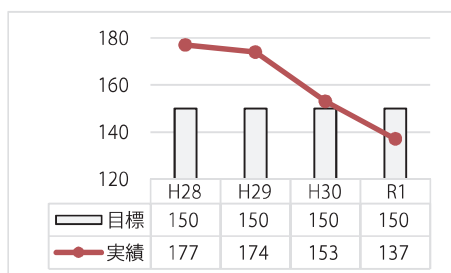
施策 2322 「伊丹の特色・資源・人材を活かしたスポーツ振興」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

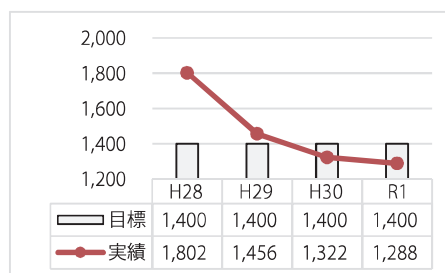
・伊丹生まれのニュースポーツ「いたっボール」等地域独自のスポーツ資源の活用と振興を図る。
 ・伊丹ゆかりのスポーツである「なぎなた」を広めるとともに全国にアピールする。

○計画期間中（H28～R2）の成果

・スポーツクラブ21 交流「いたっボール大会」、瑞ヶ池公園での「こどもヨット教室」、市立相撲場での「ちびっこ相撲教室」等を開催した。



なぎなた教室の受講者数（人）



「いたっボール」講習会等参加者数（人）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

・伊丹生まれのニュースポーツ「いたっボール」等、伊丹ならではの更なるスポーツの普及を通じて、市民が気軽にスポーツを楽しめるきっかけづくりに取り組む必要がある。

政策目標

③にぎわいと活力にあふれるまち

施策目標

1.個性とにぎわいあるまちづくり

主要施策（3）文化資源の保存・継承・活用

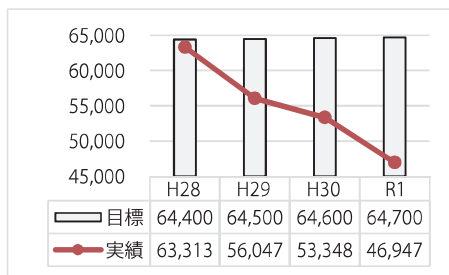
施策 3131 「文化財の保存と情報発信」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

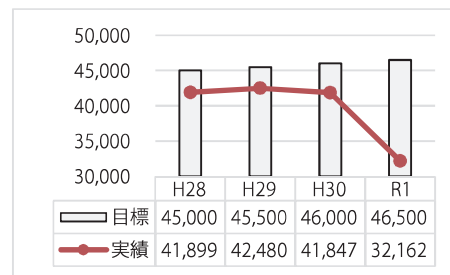
- ・史跡や文化財の良好な保存管理や情報の収集・発信を充実し、市民が文化財に親しめる環境を整備する。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・本市ゆかりの文化財や人物にスポットを当てた事業を行い、市民へのPRにつながった。
- ・地域の協力のもと、現存資料の確認や聞き取りを行う「旧村調査」を継続的に実施し、刊行物に発表するとともに、各年度の展示で紹介することができた。また、地域に伝えられた古文書等の調査成果を紹介する『博物館史料集』の刊行を継続的に実施することができた。



文化財と博物館情報のアクセス数（件）



博物館利用者数（人）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・貴重な歴史遺産・文化財の管理・保存の維持向上を推進する。
- ・文化財を活用した効果的な企画事業の実施と伊丹の歴史・文化の情報発信の充実を図る。
- ・継続的な現地調査と成果報告、史料集刊行事業を実施する。

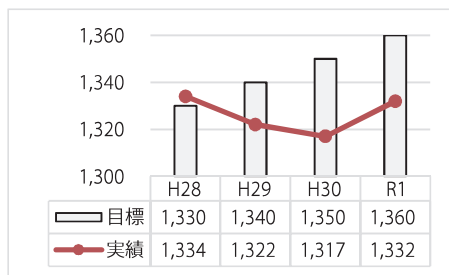
施策 3132 「文化財を活かしたまちづくり」

○第2次教育振興基本計画でのめざすべき姿

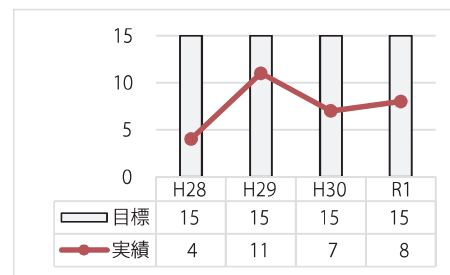
- ・歴史学習や文化財関連事業の実施により本市の歴史的・文化的遺産を次代に継承する。
- ・文化財関係団体等を育成し、市民の文化財への意識の高揚を図る。

○計画期間中（H28～R2）の成果

- ・平成28年度で終了した「伊丹ロマン事業」を、平成29年度から「伊丹市文化財保護啓発事業」として引き継ぎ、啓発することができた。
- ・文化財関連イベントを通じて、伊丹市の歴史・文化財に関心を持った参加者が増加した。
- ・ボランティア等との連携により幅広い世代とのネットワークづくりを行った。



文化財保護関係団体会員総数（人）



文化財ボランティア養成講座受講者数（人）

○第3次教育振興基本計画（R3～）への課題

- ・文化財保護団体の会員・団員の高齢化、新規会員・団員の人員減少化のなか、広報活動等を通して文化財保護の関心を高める必要がある。
- ・文化財保護啓発活動を通じた郷土への愛着の醸成を地域づくりへ持続的につなげる必要がある。